

11月度例会 個人		山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL; 亀山 誠
				報告日	12 / 12		SL; 松浦 英樹
山 域	鈴鹿	山行日	13年 11月 30日(土)				谷川 圭介・西尾 隆宏
山 名	御在所岳・鎌ヶ岳						津田 廣一
山行目的	山トレ&鈴鹿の山を楽しむ			コースタイム(天候:天気図記号)			部外者 2名

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5万分の1地図: 御在所

11/30 曇り時々晴れ
06:00 刈谷発
07:25 みすず荘 P(合流)
07:45 中道登山口 P 発
08:25 5合目一本(10分)
09:40 御在所岳山頂
10:00 アゼリア(山頂)発
11:05 手前ピーク一本(10分)
11:40 鎌ヶ岳山頂
12:00 鎌ヶ岳山頂発
12:55 ミツ口谷途中
一本(10分)
13:35 中道登山口 P 着



山行報告 予定通り、6時に刈谷へ集合、出発。一気に四日市ICまで走り、ゲストの2名との待ち合わせ場所であるDN保養所みすず荘Pへ。少々待って、7時半ごろにゲストの女性2人と合流、挨拶もそこそこに、7名を乗せて中道登山口Pへ。早速に、登山靴に履き替え、準備。簡単に自己紹介をして出発。登山口へ着くや、亀さんから「ゆっくりでなくてもいいぞ!」と声がかかると、トップの松浦君が、急登にも関わらず、張り切って猛然と登りだす。1本目のスタートは、ゆっくり入るのが普通だが、常識外れのスピード。私には、ついて行くのがやっとだ。このペースだともたないぞと思いつつ、近づく、ハ〜ハ〜と喘いでいる。予想通り、少し行くとペースがダウンして、ついて行きやすくなった。後ろのゲストは、姦しく話をしながら、少し離れてはいるが、元気について来る。30分も過ぎると、オーバーペースが効いたのか、トップがしきりに休憩場所を探している。1hもしない内に、5合目に到着して1本。これから登る御在所、反対側には鎌がくっきりと見えている。今度は、ペースダウンしたというより、通常ペースで登りだす。キレットも難なく通過して、9合目くらいから所々にアイスバーン状態の箇所が現れるようになった。下山してくる人の中には、アイゼンを装着した人もいる。いやらしい部分的に凍った岩場を慎重に通過し、後から登ってくるゲストを見ていると、「キャー、滑りそう。どうしよう!」と滑るのを楽しんでいる様だ。全員、無事通過して、少し登ったら、あっけなく山上公園へ出てしまった。ロープウェイ駅からアゼリアの方へ回って1本。武平峠を目指す山道へ入るや、急坂の道をどンドン降る。“昔、子供を連れて登ったけれど、こんなに急だったかな?”と、思いつつ膝への衝撃を我慢して降るが、降りきったら、逆に急登が待っていた。少々のアップダウンもあるも、基本は登り。1h程で鎌頂上の一つ手前のピークで1本。最後の急登を登るや、鎌山頂へ到着。下山路の長石尾根からミツ口谷へ降るルートも急な降りが続く。ややもするとブレーキが効かず、雪や氷はないが滑って転びそう。予定よりも早く登山口へ下山。面白い山行であった。

確認
(リーダー)
亀山
13.12.10
作成
(報告者)
津田
13.12.10

リーダー所見 10月の戸倉山が雨天中止となり、残念がる部外者(H&Gさんたち)。そこで今山行を計画「ちょっとだけハードな山トレ(日帰りミニ縦走)」冬山合宿も近まっており、今回はのんびり歩かず、休憩も少な目に行動した。SLは冬装備+の荷物を背負い頑張ってリードしていた。。。H&Gさんは終始お話が途切れることなくお元気だった!!



鎌ヶ岳山頂にて